

平成31年度
保健所年報

(平成30年度実績)



伊賀庁舎のマスコットキャラクター 「もーにんちゃん」(左)と「おーちゃん」(右)

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地 三重県伊賀庁舎内

(保健衛生室)

総務企画課	TEL 0595-24-8070
健康増進課	TEL 0595-24-8045
地域保健課	TEL 0595-24-8076
衛生指導課	TEL 0595-24-8080

FAX 0595-24-8085

〔ホームページ URL〕 <http://www.pref.mie.lg.jp/GHOKEN/index.htm>

〔Eメールアドレス〕 ghoken@pref.mie.jp

目 次

1 管内概況

(1) 伊賀保健所の概要	1
(2) 相談等日程	2
(3) 管内の状況	2
(4) 人口動態統計	6

2 「みえ県民カビジョン」(第二次行動計画)による事業実績

I「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

112 防災・減災を進める体制づくり

11204 (災害医療体制の整備)

1 災害拠点病院	10
----------	-------	----

121 地域医療提供体制の確保

12102(医療分野の人材確保)

1 管内保健師設置状況	11
2 保健師等研修状況	11
3 看護学生等保健所実習指導	11

12103(救急医療等の確保)

1 地域救急医療対策事業	12
2 救急告示病院	12

12104(医療安全体制の確保)

1 医務	13
------	-------	----

122 介護の基盤整備と人材育成・確保

12201(介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上)

1 介護保険制度	14
----------	-------	----

12203(介護基盤の整備促進)

1 老人保健福祉施設等の設置状況	15
------------------	-------	----

124 こころと身体の健康対策の推進

12401(健康づくり・生活習慣病予防活動の推進)

1 健康づくり総合推進事業	16
2 健康食育推進事業	17
3 栄養施行事務事業	18

12403(こころの健康づくりの推進)

1 こころの健康づくり事業	20
2 自殺予防対策	20

12404(難病対策の推進)

1 原子爆弾被爆者対策事業	22
2 難病対策事業	23
3 難病在宅ケア事業	33
4 臓器移植啓発事業	34
5 骨髄バンク	34

131 障がい者の自立と共生		
13101(障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実)		
1 障がい福祉	35
13105(精神障がい者の保健医療の確保)		
1 精神保健福祉事業	37
132 支え合いの福祉社会づくり		
13201(地域福祉活動の推進)		
1 民生委員・児童委員	40
13203(ユニバーサルデザインのまちづくりの推進)		
1 おもいやり駐車場利用証制度	40
144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等		
14401(薬物乱用防止対策の推進)		
1 薬物乱用防止対策	41
14402(人と動物との共生環境づくり)		
1 狂犬病予防法等施行事務	43
2 動物愛護	43
14403(医薬品等の安全な製造・供給の確保)		
1 薬事	44
2 献血推進	46
14404(生活衛生営業の衛生確保)		
1 生活衛生	47
145 食の安全・安心の確保		
14501(食品の安全・安心の確保)		
1 食品衛生	48
146 感染症の予防と拡大防止対策の推進		
14601(感染予防のための普及啓発の推進)		
1 感染症の予防事業	50
14602(感染症危機管理体制の整備)		
1 実働訓練	51
14603(感染症対策のための相談・検査の推進)		
1 エイズ対策事業	52
2 結核対策事業	53
II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～		
232 結婚・妊娠・出産の支援		
23203(切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実)		
1 母子保健事業	58
2 母体保護事業	60
伊賀保健所沿革	61

* 事業実績は、「みえ県民カビジョン」(第二次行動計画)の政策・事業体系に沿ってまとめました。

1 管内概況

(1) 伊賀保健所の概要（平成 31 年度体制）

伊賀保健所組織及び所掌事務

伊賀保健所長

島田 晃秀

副所長兼保健衛生室長

清田 早苗

《総務企画課 5 名》 課長 松宮 秀樹

- ・ 庶務、予算経理
- ・ 防災危機管理
- ・ 人口動態
- ・ 免許事務
- ・ 医務業務
- ・ 介護保険、高齢（障がい）者福祉

《健康増進課 5 名》 課長 村山 真弓

- ・ 栄養改善
- ・ 健康づくり
- ・ 結核、感染症対策
- ・ 予防接種
- ・ エイズ対策
- ・ 肝疾患対策（肝炎検査）
- ・ こころの健康づくり
- ・ 臓器移植

《地域保健課 6 名》 課長 麻田 禮好

- ・ 難病対策
- ・ 精神保健福祉
- ・ 母子保健
- ・ 自立支援医療制度
- ・ アスベスト相談
- ・ 肝疾患対策（医療費助成）
- ・ 原爆被爆者対策

《衛生指導課 6 名》 課長 川合 秀弘

- ・ 食品衛生
- ・ 薬事
- ・ 狂犬病予防、動物の愛護及び管理
- ・ 理容、美容、クリーニング等生活衛生営業
- ・ 献血、骨髄バンク

(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ・肝炎の相談・検査 (要予約) 9:00~11:00		県 伊賀庁舎
水曜日		精神保健相談(要予約) (最終週のみ) 14:00~16:00	県 伊賀庁舎
木曜日	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約)(第2週) 9:00~12:00	結核検診(第2・4週) 12:30~13:30	県 伊賀庁舎
金曜日			

(3) 管内の状況

ア 各市の状況

種別 市	平成27年国勢調査		平成30年10月1日現在				世帯数 の伸び 率	人口 の伸 び率
	世帯数	総人口	面積 (k㎡)	世帯数	総人口	人口密度 (人/k㎡)		
計	64,246	169,376	688.00	65,830	165,151	240.05	102.5%	97.5%
伊賀市	33,651	90,581	558.23	34,506	88,111	157.84	102.5%	97.3%
名張市	30,595	78,795	129.77	31,324	77,040	593.67	102.4%	97.8%

*資料：三重県戦略企画部統計課



イ 管内の概況

伊賀保健所の管内は、平成 16 年 11 月 1 日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の 6 市町村が合併して誕生した「伊賀市」と「名張市」の 2 市で構成されています。

1) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の北西部、近畿圏と中部圏のほぼ中央に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けています。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、北東の鈴鹿山脈、東の布引山地、西の信楽山地と笠置山地、南の室生山地といった標高 500~800m の山々に囲まれ、総面積は 688.00 km²で、県土の約 12%にあたります。山地が約 62% (421.37 km²) を占めますが、盆地内は標高 130~160m で、柘植川、服部川、木津川、名張川の各川が、伊賀市街、名張市街などを流れ、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

気候は、典型的な内陸盆地気候です。盆地の中央にある伊賀市の年平均気温は 14℃前後で、県内の観測所ではいちばんの低温となっています。山地を除くと 1 月の平均気温は 3℃で、県内では最も寒さの厳しい地域ですが、逆に夏の暑さは場所によっては 40℃を超えた記録もあるように、夏と冬や朝と夕の温度差が大きい内陸型の気候の特徴を示しています。年間降水量については 1,300mm~1,500mm と県内で最も雨の少ない地域となっています。また年間を通じて盆地特有の放射霧が多く発生し、特に 10~11 月に発現率が高くなります。

2) 人口

管内人口は、平成 30 年 10 月 1 日現在 165,151 人であり、県の総人口に占める割合は 1 割弱です。

昭和 40 年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和 55 年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、特に名張市と旧青山町においては、昭和 55 年以降の人口の増加が顕著でした。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、人口は平成 12 年をピークに僅かずつではありますが減少傾向に転じています。

また、管内の 65 歳以上の老年人口は、平成 30 年 10 月 1 日現在 53,210 人で、総人口に占める割合は、32.2%に達し、全県の老年人口の比率 29.0%を上回っています。

3) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道（亀山市~天理市）、国道 25 号（四日市市~大阪市）、国道 163 号（津市~大阪市）、国道 165 号（津市~大阪市）、南北幹線として、国道 368 号（伊賀市~多気町）、国道 422 号（紀北町~津市）の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ広域農道の伊賀コリドールロードが整備されています。

交通機関は、鉄道が東西に、北部の JR 関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ伊賀鉄道が通っています。また北東部には JR 草津線が走っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。また JR 関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。

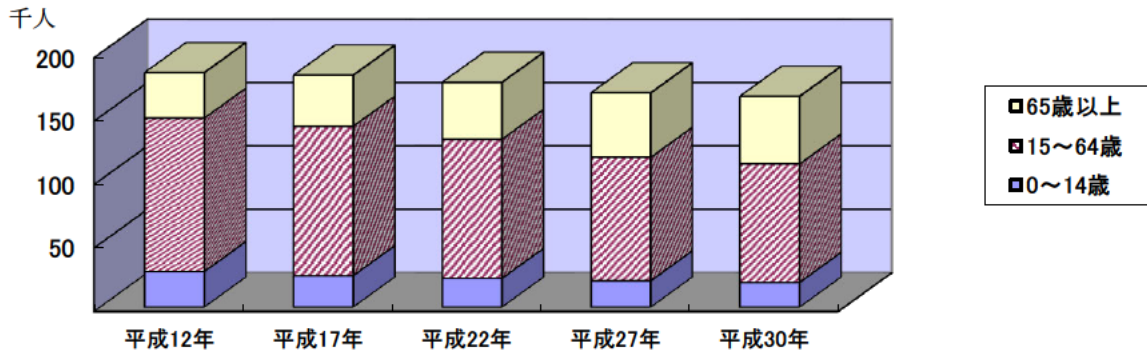
4) 管内人口の推移

各年10月1日現在

	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成30年 2018年
計	184,818	182,779	177,491	169,376	165,151
伊賀市(旧上野市)	61,493	100,623	97,207	90,581	88,111
名張市	83,291	82,156	80,284	78,795	77,040
伊賀市(旧伊賀町)	11,019				
伊賀市(旧島ヶ原村)	2,752				
伊賀市(旧阿山町)	8,427				
伊賀市(旧大山田村)	5,987				
伊賀市(旧青山町)	11,849				

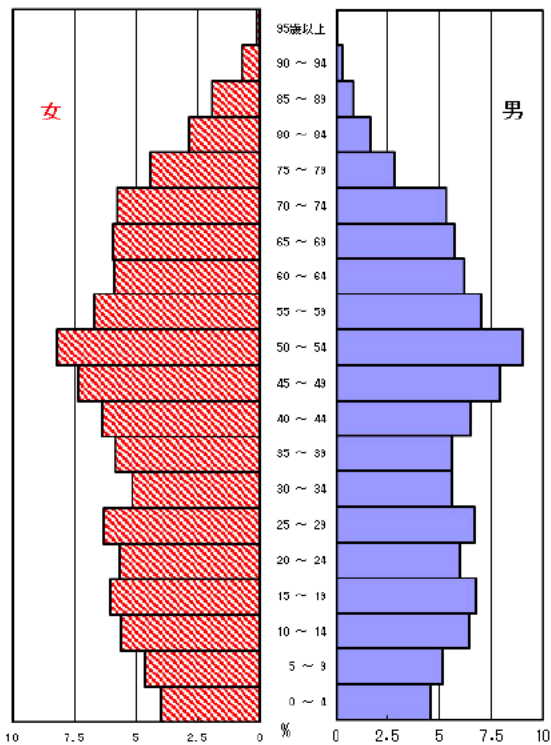
*資料：平成12年～平成27年は国勢調査、平成30年は三重県戦略企画部統計課推計人口

3区分別割合の推移

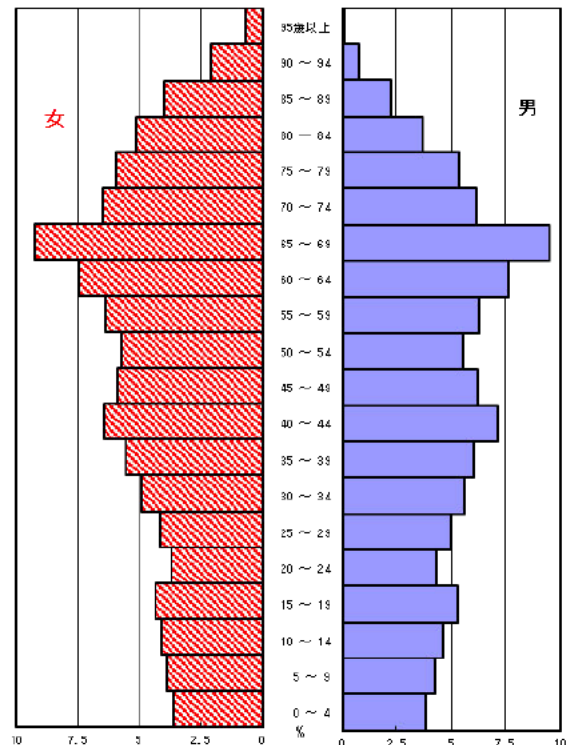


【管内の人口ピラミッド】

平成12年



平成30年



5) 管内の人口構成（概数）

平成 30 年 10 月 1 日現在

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口（18 歳未満人口）				
		年少人口 (0～14 歳)	生産年齢 人口 (15～ 64 歳)	老年人口 (65 歳以上)	0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15～17 歳	計
管内	165, 151	19, 577	91, 841	53, 210	7, 065	8, 205	4, 307	4, 584	24, 161
伊賀市	88, 111	10, 048	48, 772	29, 272	3, 602	4, 189	2, 257	2, 393	12, 441
名張市	77, 040	9, 529	43, 069	23, 938	3, 463	4, 016	2, 050	2, 191	11, 720
三重県	1, 790, 376	221, 820	1, 028, 740	520, 099	81, 364	92, 248	48, 208	51, 952	273, 772

* 資料：三重県戦略企画部統計課推計人口

* 年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しません。

平成 30 年 10 月 1 日現在

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0～14 歳)	生産年齢人口 (15～64 歳)	老年人口 (65 歳以上)	年少人 口指数	老人人 口指数	従属人 口指数	老年化 指数
管内	11. 9	55. 6	32. 2	21. 3	57. 9	79. 3	271. 8
伊賀市	11. 4	55. 4	33. 2	20. 6	60. 0	80. 6	291. 3
名張市	12. 4	55. 9	31. 1	22. 1	55. 6	77. 7	251. 2
三重県	12. 4	57. 5	29. 0	21. 6	50. 6	72. 1	234. 5

* 資料：三重県戦略企画部統計課推計人口

○年齢構成指数の求め方

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0～14 歳)}}{\text{生産年齢人口 (15～64 歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65 歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口+老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(4) 人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成 29 年の人口動態（確定数）の概況は次のとおりです。

表 1 人口動態総覧（実数、率） 各市別 平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

	各市 (県・ 全国)	総人口		出生			低体重児(再掲) ※1			死亡			乳児死亡(再掲) ※2		
		性別	人口	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	124,648,471		946,065	484,449	461,616	89,353	40,428	48,925	1,340,397	690,683	649,714	1,761	929	832
		男	60,675,736												
		女	63,972,735												
	三重 県	1,763,000		12,663	6,490	6,173	1,172	528	644	20,531	10,468	10,063	18	8	10
		男	859,000												
		女	904,000												
	管内	166,347		1,105	570	535	108	45	63	2,095	1,057	1,038	1	1	0
		男	80,452												
		女	85,895												
	伊賀 市	88,854		552	266	286	61	24	37	1,278	643	635	1	1	0
		男	43,221												
		女	45,633												
	名張 市	77,493		553	304	249	47	21	26	817	414	403	0	0	0
		男	37,231												
		女	40,262												
率	全国			7.6	8.0	7.2	94.4	83.5	106.0	10.8	11.4	10.2	1.9	1.9	1.8
	三重 県			7.2	7.6	6.8	92.6	81.4	104.3	11.6	12.2	11.1	1.4	1.2	1.6
	管内			6.6	7.1	6.2	97.7	78.9	117.8	12.6	13.1	12.1	0.9	1.8	0.0
	伊賀 市			6.2	6.2	6.3	110.5	90.2	129.4	14.4	14.9	13.9	1.8	3.8	0.0
	名張 市			7.1	8.2	6.2	85.0	69.1	104.4	10.5	11.1	10.0	0.0	0.0	0.0
	率の算出方法		人口千 対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対	女子 出生 千対	

* 資料：三重県医療保健部医療保健総務課、人口は三重県：三重県医療保健部医療保健総務課（平成 29 年 10 月 1 日現在推計人口）、全国：総務省統計局（平成 29 年 10 月 1 日現在推計人口）

* 率は、算出方法により計算。

※1 低体重児は出生体重 2,500g 未満。

※2 乳児死亡は生後 1 年未満の死亡。

平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

	各市 (県・全国)	新生児 死亡 (再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特 殊出生 率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満 22 週以 後の死産	早期新生 児死亡				
実 数	全国	832	20,358	9,738	10,620	3,308	2,683	625	606,866	212,262	△ 394,332	
	三重県	10	268	128	140	45	36	9	7,937	2,784	△ 7,868	
	管内	0	22	9	13	1	1	0	672	273	△ 990	
	伊賀市	0	12	5	7	1	1	0	392	142	△ 726	
	名張市	0	10	4	6	0	0	0	280	131	△ 264	
率	全国	0.9	21.1	10.1	11.0	3.5	2.8	0.7	4.9	1.7	△ 3.2	1.43
	三重県	0.8	20.7	9.9	10.8	3.5	2.8	0.7	4.5	1.6	△ 4.5	1.49
	管内	0.0	19.5	8.0	11.5	0.9	0.9	0.0	4.0	1.6	△ 6.0	1.42
	伊賀市	0.0	21.3	8.9	12.4	1.8	1.8	0.0	4.4	1.6	△ 8.2	1.36
	名張市	0.0	17.8	7.1	10.7	0.0	0.0	0.0	3.6	1.7	△ 3.4	1.47
	率の算 出方法	出生 千対	出産（出生＋死産） 千対			出産（出生＋妊娠満 22 週 以後の死産）千対			人口千対			

*資料：三重県健康福祉部健康福祉総務課

- ・ △は減を示す。・ 新生児死亡は生後 4 週未満の死亡。・ 早期新生児死亡は生後 1 週未満の死亡。
- ・ 死産は妊娠 1 2 週以後の死産の出産。 ・ 自然増加は出生数－死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15 歳から 49 歳までの合計}$$

- 1) 出生 管内の出生数は前年より 54 人減少し、出生率は 6.6 でした。市別にみると、伊賀市は県の 7.2 ポイントを下回り 6.2 ポイント、名張市は 7.1 ポイントでした。
- 2) 死亡 管内の死亡数は 2,095 人で前年より 37 人増加し、死亡率は 12.6 で前年の 12.3 を上回っています。市別にみると、伊賀市は県の 11.6 ポイントを上回り 14.4 ポイント、名張市は県を下回り 10.5 ポイントでした。
- 3) 乳児死亡 乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されています。管内の乳児死亡数は前年より 2 人減少し、新生児死亡数も前年より 1 人減少し 0 人となりました。
- 4) 死産 管内の死産数は 22 人で、前年より 1 名増加しています。人工死産率は 11.5 で三重県の値を上回っています。自然死産率は 8.0 で県の値を下回っています。
- 5) 周産期死亡 母体の健康状態に強く影響される指標です。周産期死亡数は 1 人で、前年より 5 人減少しています。周産期死亡率は 0.9 で前年の値を下回っています。
- 6) 婚姻と離婚 婚姻件数は 672 件で前年より 10 件減少しています。婚姻率は 4.0 で県の値を下回っています。離婚件数は 273 件で前年より 1 件減少しています。離婚率は 1.6 で県の値を上回っています。
- 7) 自然増加 管内の自然増加率は △6.0 で県の値 △4.5 を上回っています。
- 8) 合計特殊出生率 管内の合計特殊出生率は 1.42 で前年より 0.01 ポイント減少しています。伊賀市は 1.36 で前年を下回り、名張市は 1.47 で前年より上回っています。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示します。

表 2・3 各市別主要死因別死亡数・標準化死亡比（SMR）等 平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤
三重県	死亡数	20,531	37	5,209	190	132	3,166	1,663	301
	SMR	102.4	106.6	94.2	91.4	91.6	102.9	101.0	105.4
	※調整	348.50	0.35	108.60	3.55	1.74	49.01	26.25	5.19
管内	死亡数	2,095	1	550	15	15	316	158	28
	SMR	103.4	28.4	98.8	71.5	102.2	101.2	94.9	97.2
	※調整	350.26	0.08	111.34	2.93	1.52	49.33	22.43	3.57
伊賀市	死亡数	1,278	0	328	8	13	208	97	17
	SMR	105.3	0.0	102.4	65.0	144.4	109.7	96.6	99.5
	※調整	360.75	0.00	114.22	2.78	1.90	55.43	23.59	3.03
名張市	死亡数	817	1	222	7	2	108	61	11
	SMR	100.4	73.7	93.8	80.9	35.2	88.1	92.3	93.8
	※調整	338.81	0.21	108.43	3.12	0.86	42.45	21.16	4.06

*資料：三重県医療保健部医療保健総務課

		肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡数	1,487	320	19	219	407	2,064	662	305
	SMR	101.5	114.9	71.1	87.7	107.5	133.2	110.5	105.1
	※調整	17.92	4.44	0.37	5.36	5.62	18.62	13.83	15.94
管内	死亡数	160	38	1	28	45	229	71	28
	SMR	107.3	134.8	37.0	112.8	116.9	143.5	118.3	102.8
	※調整	18.54	4.97	0.21	7.15	6.14	20.75	15.21	15.75
伊賀市	死亡数	101	24	0	14	31	136	41	15
	SMR	109.2	140.4	0.0	100.5	131.4	133.1	115.6	102.0
	※調整	18.77	5.36	0.00	5.48	7.75	19.51	15.73	16.93
名張市	死亡数	59	14	1	14	14	93	30	13
	SMR	104.1	126.1	94.8	128.5	93.9	162.1	122.2	103.6
	※調整	18.22	4.58	0.46	8.68	4.31	22.86	14.52	14.18

※調整 = 年齢調整死亡率（人口 10 万人対）

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left\{ \text{観察集団の年齢 } \chi \text{ 歳（年齢階級）の死亡率} \times \text{基準人口集団のその年齢 } \chi \text{ 歳（年齢階級）の人口} \right\} \text{の各年齢（年齢階級）についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口：昭和 60 年モデル人口を使用

表4 市別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成29年1月1日～12月31日（単位：人）

	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S 状結腸 移行部 及び直腸	肝及 び肝 内胆 管	胆の う及 びそ 他の 胆道	膵	気 管、 気管 支及 び肺	乳房	子宮	白血 病	その 他
三重 県	計	5,209	161	634	509	226	314	249	538	1,033	189	94	104	1,158
	男	3,082	139	415	234	140	210	139	276	771	0	・	57	701
	女	2,127	22	219	275	86	104	110	262	262	189	94	47	457
管内	計	550	20	61	66	26	39	20	56	107	20	14	13	108
	男	308	16	40	27	16	25	8	29	79	0	・	5	63
	女	242	4	21	39	10	14	12	27	28	20	14	8	45
伊 賀 市	計	328	7	33	47	12	21	13	39	70	11	7	5	63
	男	182	5	22	21	8	15	5	17	54	0	・	2	33
	女	146	2	11	26	4	6	8	22	16	11	7	3	30
名 張 市	計	222	13	28	19	14	18	7	17	37	9	7	8	45
	男	126	11	18	6	8	10	3	12	25	0	・	3	30
	女	96	2	10	13	6	8	4	5	12	9	7	5	15

*資料：三重県医療保健部医療保健総務課

○ 特徴

管内の死因順位では、第一位悪性新生物 550 人（総数に占める割合 26.3%）、第二位心疾患 316 人（同様に 15.1%）、第三位老衰 229 人（同様に 10.9%）でした。これら 3 大死因の総数に占める割合は 52.3%となっています。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内 350.26 であり、主な死因別では悪性新生物、心疾患、肺炎、老衰がそれぞれ県の値を上回っています。

管内の悪性新生物では、「気管・気管支及び肺」「結腸」「胃」「膵」で 52.7%を占めています。



2 「みえ県民カビジョン」(第二次行動計画)による事業実績

I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

112 防災・減災対策の推進

11204 災害医療体制の整備

(主担当：保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 災害発生時には、災害医療コーディネーターと連携を図り、「三重県災害医療対応マニュアル」に基づいて迅速に対応します。
- 2 災害発生時に、医療機関及び医薬品等関係機関の協力を得て、医療救護活動に必要な医薬品・衛生材料の調達・分配を行います。
- 3 災害拠点病院との連携を図ります。

1 災害拠点病院

災害時の救急医療体制の拠点となる、災害拠点病院を指定しています。

(1) 伊賀地域災害拠点病院

平成 31 年 4 月 1 日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	Fax 番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24 - 1111	24-2268
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西 1 番町 178	61 - 1100	64 - 7999

2 研修・会議

名称	開催日	開催場所	参加人数	内容
地域別災害医療コーディネーター研修	平成 31 年 2 月 13 日 (水)	伊賀庁舎 中会議室	7 名	災害発生から数日後を想定した机上訓練 講師：三重大学医学部附属病院 災害医療センター 武田 多一氏
伊賀地域災害医療対策会議（健康危機管理ネットワーク会議）	平成 30 年 10 月 31 日 (水)	伊賀庁舎 中会議室	25 名	・ 新型インフルエンザ情報伝達訓練について ・ 西日本豪雨災害被災地支援に関する報告について 他

3 情報伝達訓練

名称	実施日	参加機関	内容
伊賀地域大規模災害時病院情報伝達等訓練	平成 30 年 12 月 6 日 (木)	上野総合 市民病院 他	南海トラフ地震の発生を想定した情報伝達訓練 ・ 受援と支援の両面を想定 ・ 主要病院との情報伝達訓練 ・ EMIS の入力訓練 他

121 医師確保と医療体制の整備

12102 医療分野の人材確保

(主担当：保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 専門技術研修会への参加及び市保健師等地域保健関係者の資質向上を図るための会議及び研修会を行います。
- 2 管理栄養士・看護師及び保健師を目指す学生に対して、保健所実習を通じて地域における栄養・看護活動の展開について臨地学習指導を行います。

1 管内保健師設置状況

平成 31 年 4 月 1 日現在

	総数	保健所	伊賀市	名張市
設置人員	50	9	21	20



2 保健師等研修状況

(1) 管内保健師研修会等の開催

- ・管内統括保健師会議

保健師の人材育成体制における現状と課題整理、対応策の検討等を実施しました。

10 回／年開催 参加者 管内統括保健師 延べ 51 人

(2) 保健師技術研修への参加

- ・新任期一次・二次研修会、中堅・リーダー技術研修会、人材育成研修会等へ参加しました。

延べ 7 回 参加者 10 人

- ・人材育成会議、統括保健師会議等へ参加しました。

延べ 4 回 参加者 6 人

3 看護学生等保健所実習指導

	所属名	実習期間 (日)	人員(名)
看護学科学生	三重県立看護大学看護学科	11.5	5
	三重大学医学部看護学科	6	6
管理栄養士学生	畿央大学健康科学部健康栄養学科	5	2
	帝塚山大学現代生活部食物栄養学科	5	2
	至学館大学健康科学部栄養学科	5	1

12103 救急・へき地等の医療の確保

(主担当：保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域住民の救急医療を確保するため、伊賀管内の一次救急、二次救急および救命救急医療体制の整備を行います。
- 2 救急告示医療機関との連携を図ります。

1 地域救急医療対策事業

伊賀地域では、両市の応急診療所による一次救急医療体制と併せて2市3病院による二次救急医療体制をとっているが、病院における医師不足は続いており、二次救急医療体制は厳しい状況にあります。

また、救急搬送体制の整備・強化を図るために、伊賀地域メディカルコントロール部会において救急措置活動の Protokol 作成や救急搬送事例の事後検証を行うとともに、救急救命士の再教育についても検討しました。

(1) 伊賀地域メディカルコントロール部会（協議会）

- ア 開催回数：2回
- イ 開催場所：三重県伊賀庁舎
- ウ 出席者数：第1回8名、第2回8名

2 救急告示病院

救急告示病院は、地域における救急業務の対象となる傷病者の発生状況等を考慮して認定します。

(1) 伊賀地域救急告示病院

平成31年4月1日現在

名称	郵便番号	住所	電話番号	Fax 番号
伊賀市立上野総合市民病院	518-0823	伊賀市四十九町 831	24-1111	24-2268
社会医療法人畿内会 岡波総合病院	518-0842	伊賀市上野桑町 1734	21-3135	21-5237
名張市立病院	518-0481	名張市百合が丘西 1 番町 178	61-1100	64-7999



12104 医療の質の向上

(主担当：保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 地域医療提供体制の整備をはかるため、日常の健康管理や適切な初期診療などを身近なところで提供する「かかりつけ医」の推進を図ります。

1 医務

管内における医療施設の状況は次のとおりです。

(1) 施設数

平成 31 年 4 月 1 日現在

区分	市名	総数	伊賀市	名張市
病院		6	4	2
一般診療所		136	71	65
歯科診療所		70	32	38
助産所		5	1	4
施術所		128	64	64

(2) 病床数 (病院)

平成 31 年 4 月 1 日現在

	病 院						病床率 (人口 10 万対)
	総数	精神 病床	感染症 病床	結核 病床	一般 病床	療養 病床	病院
伊賀市	1,078	410	0	0	628	40	1,233.2
名張市	335	0	0	0	255	80	436.6
管内計	1,413	410	0	0	883	120	860.8

* 病床率については、平成 31 年 4 月 1 日現在推計人口（三重県戦略企画部統計課）で算出

122 介護の基盤整備と人材の育成・確保

12201 介護保険事業の円滑な運営とサービスの質の向上

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 介護保険サービス提供事業者に対し、新規・変更・更新指定申請時に係る受付事務等を行います。

1 介護保険制度

- (1) 実施主体数 2 保険者(伊賀市・名張市)

- (2) 要介護認定者の状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

保険者	要介護認定者数(人)							合計
	要支援		要介護					
	1	2	1	2	3	4	5	
伊賀市	865	784	1,429	966	810	763	492	6,109
名張市	272	525	823	908	650	556	353	4,087
合計	1,137	1,309	2,252	1,874	1,460	1,319	845	10,196

*資料:厚生労働省介護保険事業状況報告(暫定)

- (3) 介護度別居宅介護サービス受給者数

平成 31 年 3 月 31 日現在

保険者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
伊賀市	246	334	1,065	747	433	289	153	3,267
名張市	78	204	578	678	401	235	129	2,303
合計	324	538	1,643	1,425	834	524	282	5,570

*資料:厚生労働省介護保険事業状況報告(暫定)

- (4) 施設種類別サービス受給者数

平成 31 年 3 月 31 日現在

保険者	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
伊賀市	767	416	16	1,199
名張市	449	166	26	641
合計	1,216	582	42	1,840

*資料:厚生労働省介護保険事業状況報告(暫定)

(5) 介護度別居宅介護サービス事業所数

平成 31 年 4 月 1 日現在

介護保険サービス種別	事業所数		
	伊賀市	名張市	計
訪問介護	22	21	43
訪問入浴介護	2	0	2
訪問看護	7	8	15
通所介護	21	19	40
通所リハビリテーション	6	4	10
短期入所生活介護	15	7	22
短期入所療養介護	4	4	8
特定施設入居者生活介護	4	4	8
福祉用具貸与	6	5	11
特定福祉用具販売	6	4	10
介護予防訪問入浴介護	2	0	2
介護予防通所リハビリテーション	5	4	9
介護予防短期入所生活介護	12	7	19
介護予防短期入所療養介護	3	4	7
介護予防特定施設入居者生活介護	2	4	6
介護予防福祉用具貸与	6	5	11
特定介護予防福祉用具販売	6	4	10

居宅介護支援は平成 30 年 4 月 1 日から、介護予防訪問介護及び介護予防通所介護は平成 30 年 3 月 31 日で市へ移行しました。

12203 介護基盤の整備促進

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 介「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(第 6 期三重県介護保険事業支援計画・第 7 次三重県高齢者福祉計画)に基づき、年度別に地域の実情を勘案して、老人保健福祉施設の整備を進めます。

1 老人保健福祉施設等の設置状況

平成 31 年 4 月 1 日現在

		特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	計
伊賀市	施設数	12	4	0	3	1	1	21
	(定員)	(820)	(450)	(0)	(170)	(50)	(50)	(1,540)
名張市	施設数	9	3	1	1	6	3	23
	(定員)	(480)	(228)	(40)	(50)	(144)	(80)	(1,022)
計	施設数	21	7	1	4	7	4	44
	(定員)	(1,300)	(678)	(40)	(220)	(194)	(130)	(2,562)

※老人ホームについては、県に設置の届出があるもののみ計上。

124 こころと身体健康対策の推進

12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

- 1 質の高い健康文化を築き、住民がいきいきと生活できる「健康長寿地域・伊賀」を目指して、健康づくり活動の協働体制に向けた働きかけを積極的に行っていきます。
- 2 市をはじめ、企業、団体等と協働して、食生活、たばこ、運動、こころの健康づくり、歯科保健対策等生活習慣の改善に向けて、県民の健康づくりを支援します。
- 3 野菜摂取量の増加と朝食習慣の定着と朝食における野菜の摂取を推進し、県民が健康的な食生活が実践できるよう支援します。
- 4 給食施設指導を充実し、県民が適正な食生活を営む力をつけることを支援します。
- 5 多様な主体と協働した食環境づくりを推進します。

1 健康づくり総合推進事業

地域や企業、関係団体及び関係機関が集い情報交換を行うとともに、専門的な知識や情報の共有を通して地域の健康課題の解決を図るため懇話会等を開催しました。

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会

日時	場所	出席者数	内容
平成 30 年 9 月 29 日	県伊賀庁舎 中会議室	13 名	(1) 講演「三重県における糖尿病対策について ～第 7 次三重県医療計画より～」 講師 三重県医療保健部 健康づくり課 がん・健康対策班 (2) 情報交換 ・糖尿病予防の取組について (3) 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度活動計画について

(2) 情報交換会

日時	場所	出席者数	内容
平成 30 年 5 月 28 日	県伊賀庁舎 中会議室	7 名	1 「楽しみながら健康づくりをはじめよう」 (1) 「ポイント貯めて 健康 GET！ 名張ケンコー！マイレージ！」 名張市健康・子育て支援室 (2) 「みんなで健康づくりをはじめよう！ 伊賀市健康マイレージ」 伊賀市健康推進課 (3) 「楽しく笑顔で健康に 三重とこわか健康マイレージ」 三重県伊賀保健所健康増進課 2 「特定健診、特定保健指導、がん検診の受診率アップを目指して」 各事業と各市の実施状況について 3 その他 ・有事の際の救急対応のための体制について ・三重県における自殺予防について ・麻疹について

2 健康食育推進事業

(1) 野菜フル 350 推進事業

県民が健康的な食生活が実践できるように 1 日の野菜摂取目標量を 350g(食事バランスガイドで副菜 5 つ)として野菜摂取量増加を推進する。同時に、健康的な朝食習慣の定着化を図るため、朝食の野菜摂取目標量 70g(食事バランスガイドで副菜 1 つ)を推進するために健康教育、啓発を実施しました。

ア 健康教育

開催日等	開催場所	対象団体	人数	内容
平成 30 年 6 月 22 日	上野ふれあいプ ラザ	木の芽会	16 名	講義「高齢化社会に向けての課題」
平成 30 年 7 月 19 日	伊賀市ハイトピア	伊賀市民	13 名	講義「健康日本21について ～三重県の健康・栄養状況～」
平成 30 年 12 月 13 日	伊賀ふるさと農業 協同組合本館	伊賀ニューモラ ルエルダー会	35 名	講義「健康寿命と食生活」
平成 30 年 12 月 16 日	伊賀市上野西部 地区公民館	上野幸坂町自 治会	10 名	講義「のぼそう！健康寿命」
平成 31 年 3 月 8 日	上野ふれあいプ ラザ	木の芽会	12 名	実習・講義「朝ごはんを食べよう ～しっかり 食べて、元気な 1 日を～」

イ 協働啓発活動

開催日	イベント名	対象者	人数	実施場所
平成 30 年 10 月 3 日	コープみえ商品・ くらしの活動交流会	コープ会員	77 名	上野フレックスホテル
平成 30 年 11 月 11 日	名張市健康・医療介護福 祉フェスタ	地域住民	60 名	名張市防災センター
平成 30 年 5 月・9 月 31 年 3 月	食生活改善普及月間及 び健康増進普及月間 等	地域住民	840 名	健康づくり応援の店
平成 31 年 2 月	商業施設での啓発	地域住民	30 名	大山田温泉さるびの

(2) 健康づくり応援の店

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店を「健康づくり応援の店」として登録し、県民の健康づくりを支援します。

平成 31 年 3 月 31 日現在 13 店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言等を行いました。

ア 給食施設従事者研修会

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成 30 年 12 月 20 日	県伊賀庁舎 大会議室	管内 給食施設従事者等	54 名	講演「安全・安心な食事の提供について ～大量調理施設衛生管理マニュアルを活用して～」 講師:伊賀保健所 衛生指導課 事例提供「保育所における食育の取組について」 情報提供者 曙保育園 管理栄養士、栄養士 情報交換「災害発生時の食事提供について」

イ 特定給食施設等巡回指導

	巡回指導施設数	備考
特定給食施設	20	
一般給食施設	13	
計	33	

(2) 栄養表示指導

食品表示法に基づく食品表示基準(保健事項)、健康増進法第 31 条の 1 に基づく虚偽誇大広告の禁止に関する相談や指導・助言を行いました。

内容	対象者	件数
栄養成分表示、虚偽誇大広告相談・指導	事業者等	29 件

(3) 人材育成・支援

地域で活動する市民団体や食に関係する職域の専門職種、食育関係者等に対して研修や情報発信等を行うことにより、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行いました。

ア 地区組織育成・支援

食生活改善推進員の育成に対する支援、組織活動に対する育成・支援を行いました。

種別	対象者	内容	回数
総会・研修会	伊賀市食生活改善推進員、 伊賀地区食生活改善推進員	総会・研修会等運営支援	3 回
リーダー研修会	伊賀地区食生活改善推進員	実習献立指導及び情報提供 等	10 回
木の芽会研修	木の芽会会員	実習献立指導及び講義	7 回

イ 専門職種への支援

	内容	実施回数
市栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・管理栄養士臨地実習について助言・協働 ・食生活改善推進員養成講座支援 	3回 1回 2回
地域活動栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・栄養・健康づくりに関する情報提供及び啓発媒体等の提供 	3回 随時

(4) 栄養相談・指導

健康増進法第18条に基づく栄養相談・指導を実施しました。

	栄養指導	個別指導延べ人数		集団指導延べ人数	
		(再掲)病態別	(再掲)訪問による	栄養指導	(再掲)病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳以上	1	1	0	96	0

(5) 国民、県民健康・栄養調査

- ・ 国民健康・栄養調査 調査地区及び実施世帯数、世帯員数

伊賀市 12世帯 37名



(イラスト: 鈴鹿医療科学大学学生作成)

フェアリーベジ(野菜の妖精)があなたの食生活を応援します!

12403 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

- 1 自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発をはかり、関係機関と連携をはかりながら共に支えあい安心して生活できる地域づくりを目指します。
- 2 市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進を図ります。

1 こころの健康づくり事業

(1) こころの健康づくりに関する啓発

企業のイベント及び市が開催する健康まつりに参加し、保健所ブースでこころの健康づくりに関する啓発を実施しました。

開催日	平成 30 年 10 月 3 日	平成 30 年 11 月 11 日
場 所	上野フレックスホテル	名張市防災センター
内 容	パネル展示、各種パンフレット・啓発グッズ配布	
来場者	77 名	60 名

2 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行い、地域での自殺予防対策の取り組みについて説明します。

(1) 自殺予防に関する啓発事業

市民への自殺予防の啓発

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間の啓発
- ・庁舎内で「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」にのぼりを立て、啓発グッズを配布
- ・伊賀保健所HPに関連記事を掲載
- ・街頭啓発

	日時	場所	内容
自殺予防週間	平成 30 年 9 月 12 日 7:30～8:30	近鉄名張駅周辺	「自殺予防週間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
	平成 30 年 9 月 14 日 7:30～8:30	伊賀鉄道上野市駅周辺	
自殺対策強化月間	平成 31 年 3 月 4 日 11:30～12:30	アピタ伊賀上野店	「自殺対策強化月間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市・伊賀地区食生活改善推進連絡協議会・三重県地域活動栄養士連絡協議会伊賀支部と共催)
	平成 31 年 3 月 6 日 11:30～12:30	アピタ名張店	

(2) 人材育成

自殺予防啓発教育

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人、悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人を養成します。

開催日	対象者	回数	受講者数
平成 30 年 5 月～ 平成 31 年 1 月末	看護・栄養学生等	3 回	16 名

(3) 地域自殺・うつ対策ネットワーク

質の高い健康文化を築き、住民がいきいきと生活できる長寿地域・伊賀を目指して、いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会を設置しており、こころの健康づくり・自殺対策を推進していきます。

いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会(自殺対策ネットワーク会議)開催状況

日 時	場 所	出席者数	内 容
平成 30 年 9 月 29 日	県伊賀庁舎 中会議室	13 名	(1) 講演「三重県における糖尿病対策について ～第 7 次三重県医療計画より～」 講師 三重県医療保健部 健康づくり課 がん・健康対策班 (2) 情報交換 ・糖尿病予防の取組について (3) 平成 29 年度事業報告及び平成 30 年度活動計画について

情報交換会

日 時	場 所	出席者数	内 容
平成 30 年 5 月 28 日	県伊賀庁舎 中会議室	7 名	1 「楽しみながら健康づくりをはじめよう」 (1) 「ポイント貯めて 健康GET！ 名張ケンコー！マイレージ！」 名張市健康・子育て支援室 (2) 「みんなで健康づくりをはじめよう！ 伊賀市健康マイレージ」 伊賀市健康推進課 (3) 「楽しく笑顔で健康に 三重とこわか健康マイレージ」 三重県伊賀保健所健康増進課 2 「特定健診、特定保健指導、がん検診の受診率アップを目指して」 各事業と各市の実施状況について

(4) その他

ア 精神保健相談(毎月最終月曜日) 相談件数 20 件(実人数 20 件)

イ 自殺・うつ関係相談(随時)面接相談 1 件(実人数 1 件)

電話相談 2 件(実人数 1 件)

12404 難病対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課・衛生指導課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族の QOL(生活の質)の向上を図ります。
- 3 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。
- 4 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施しました。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

(1) 被爆者健康手帳所持者 平成 31 年 3 月 31 日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	10	29

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 19人 (うち要精検者数 0人)

第2回 15人 (うち要精検者数 2人)

イ がん検診受診者数

平成 30 年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	3	3	1	1	3	3
要精検者数	1	0	0	0	0	2

(3) 各種手当受給状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者 数	2	35	0	1	0	1	2

2 難病対策事業

(1) 難病法に基づく特定医療費の支給事業

平成 27 年 1 月 1 日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行、平成 30 年 4 月 1 日からは指定難病が 331 疾病に拡大され、認定基準を満たした申請者に特定医療費(指定難病)受給者証を交付しました。

特定医療費(指定難病)受給者数

平成 30 年度(平成 31 年 3 月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	球脊髄性筋萎縮症	1	0	1
2	筋萎縮性側索硬化症	7	5	12
3	脊髄性筋萎縮症	1	0	1
4	原発性側索硬化症	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	9	16	25
6	パーキンソン病	69	118	187
7	大脳皮質基底核変性症	0	5	5
8	ハンチントン病	1	0	1
9	神経有棘赤血球症	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	2	2
11	重症筋無力症	8	18	26
12	先天性筋無力症候群	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	5	25	30
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	1	4	5
15	封入体筋炎	1	0	1
16	クローウ・深瀬症候群	0	0	0
17	多系統萎縮症	9	5	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	13	30
19	ライソゾーム病	1	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0
21	ミトコンドリア病	0	1	1
22	もやもや病	3	14	17
23	プリオン病	0	2	2
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	1	2
27	特発性基底核石灰化症	0	1	1
28	全身性アミロイドーシス	3	5	8
29	ウルリッヒ病	0	0	0
30	遠位型ミオパチー	0	1	1
31	ベスレムミオパチー	0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0
34	神経線維腫症	4	1	5
35	天疱瘡	3	3	6
36	表皮水疱症	0	0	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	1	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	1	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0
40	高安動脈炎	3	6	9
41	巨細胞性動脈炎	1	1	2
42	結節性多発動脈炎	1	4	5
43	顕微鏡的多発血管炎	8	13	21
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	2	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4	1	5
46	悪性関節リウマチ	0	3	3
47	バージャー病	6	1	7
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	1	1
49	全身性エリテマトーデス	7	62	69
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	11	26	37
51	全身性強皮症	5	48	53
52	混合性結合組織病	0	14	14
53	シェーグレン症候群	1	27	28
54	成人スチル病	0	3	3
55	再発性多発軟骨炎	2	1	3
56	ベーチェット病	12	8	20
57	特発性拡張型心筋症	34	5	39
58	肥大型心筋症	6	6	12
59	拘束型心筋症	0	0	0
60	再生不良性貧血	4	5	9
61	自己免疫性溶血性貧血	1	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	10	18	28
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	1
65	原発性免疫不全症候群	1	0	1
66	IgA 腎症	14	14	28
67	多発性嚢胞腎	6	4	10
68	黄色靭帯骨化症	3	3	6
69	後縦靭帯骨化症	33	18	51
70	広範脊柱管狭窄症	8	3	11

番号	疾病名	男	女	合計
71	特発性大腿骨頭壊死症	12	9	21
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	3	2	5
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	0	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	2	2	4
75	クッシング病	0	2	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	3	7
78	下垂体前葉機能低下症	14	8	22
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	0	0
82	先天性副腎低形成症	0	0	0
83	アジソン病	0	0	0
84	サルコイドーシス	10	14	24
85	特発性間質性肺炎	18	6	24
86	肺動脈性肺高血圧症	0	4	4
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	7	9
89	リンパ脈管筋腫症	0	1	1
90	網膜色素変性症	16	16	32
91	パッド・キアリ症候群	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	0	0
93	原発性胆汁性胆管炎	6	25	31
94	原発性硬化性胆管炎	1	0	1
95	自己免疫性肝炎	1	4	5
96	クローン病	32	19	51
97	潰瘍性大腸炎	80	70	150
98	好酸球性消化管疾患	0	2	2
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0
103	CFC 症候群	0	0	0
104	コストロ症候群	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0	0	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0
111	先天性ミオパチー	0	0	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0
113	筋ジストロフィー	4	2	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0
117	脊髄空洞症	0	0	0
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0
126	ペリー症候群	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	0	0	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	0	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0
145	ウエスト症候群	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0
151	ラスマッセン脳炎	0	0	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	0	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0
158	結節性硬化症	0	0	0
159	色素性乾皮症	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0	1	1
163	特発性後天性全身性無汗症	2	0	2
164	眼皮膚白皮症	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0
167	マルファン症候群	1	1	2
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0
171	ウィルソン病	0	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0
173	VATER 症候群	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0
180	ATR-X症候群	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0
188	多脾症候群	0	1	1
189	無脾症候群	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0
199	5p 欠失症候群	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0
206	脆弱 X 症候群	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0
208	修正大血管転位症	0	0	0
209	完全大血管転位症	0	0	0
210	単心室症	0	0	0
211	左心低形成症候群	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0
215	ファロー四徴症	1	0	1
216	両大血管右室起始症	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	1	1
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	15	5	20

番号	疾病名	男	女	合計
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0
224	紫斑病性腎炎	0	0	0
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	2	2
227	オスラー病	0	0	0
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0
231	α -アンチトリプシン欠乏症	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0
241	高チロシン血症 1 型	0	0	0
242	高チロシン血症 2 型	0	0	0
243	高チロシン血症 3 型	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0	0	0
249	グルタル酸血症 1 型	0	0	0
250	グルタル酸血症 2 型	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
261	タンジール病	0	0	0
262	原発性高カイトロミクロン血症	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0
264	無β ₂ ミクログロブリン血症	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0
266	家族性地中海熱	0	0	0
267	高IgD症候群	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0
271	強直性脊椎炎	2	1	3
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	1	0	1
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0
285	ファンコニ貧血	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0	0	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0
296	胆道閉鎖症	0	0	0
297	アラジール症候群	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
299	嚢胞性線維症	0	0	0
300	IgG4関連疾患	3	1	4
301	黄斑ジストロフィー	0	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0
303	アッシュャー症候群	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	7	3	10
307	カナバン病	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0
323	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	0
329	無虹彩症	0	0	0
330	先天性気管狭窄症	0	0	0
331	特発性多中心性キャスルマン病	0	0	0
	総計	565	751	1,316

(2) 特定疾患治療研究事業

難病法の施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされていた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象となる指定難病以外の疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるため、申請により特定疾患医療受給者証を交付しました。

特定疾患医療受給者数

平成 30 年度(平成 31 年 3 月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	スモン	0	2	2
2	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
3	重症急性膵炎	0	0	0
4	プリオン病 (ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0	0	0
5	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
	総計	0	2	2

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された 11 疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付しました。

平成 30 年度(平成 31 年 3 月末現在)

	疾患名	受給者証交付件数
1	第 I 因子(フィブリノゲン)欠乏症	1
2	第 II 因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第 V 因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第 VII 因子(安定因子)欠乏症	0
5	第 VIII 因子欠乏症(血友病 A)	2
6	第 IX 因子欠乏症(血友病 B)	2
7	第 X 因子(スチュアートプラウア因子)欠乏症	0
8	第 XIII 因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第 XI 因子(PTA)欠乏症	0
11	第 XII 因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0
	総計	7

(4) 肝炎治療特別促進事業

B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療の医療費を助成することで、早期治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ります。

公費負担医療受給状況:平成 30 年度中

B型肝炎 91 件(新規 17 件、更新 74 件)

C型肝炎 34 件(インターフェロンフリー治療 34 件)

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施します。

(1) 在宅患者支援システムの構築

関係機関との連携を深め、地域に根ざしたネットワークづくりを目指し、事例検討及び支援者会議への参加や研修会の開催を行いました。

ア 支援者会議等への参加

開催年月日 病名・場所	参加者	検討内容
H30. 5. 29 ALS・自宅	患者本人、家族、ケアマネジャー、訪問（看護師、理学療法士）、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置スイッチ変更について
H30. 6. 1 ALS・自宅	家族、医療機関看護師、保健所保健師	医療及び療養生活について
H30. 10. 25 ALS・自宅	本人、家族、ケアマネジャー	療養生活について情報共有、支援内容の検討
H30. 11. 16 ALS・自宅	患者本人、家族、ケアマネジャー、訪問看護師、ヘルパー、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について統一
H30. 12. 26 ALS・自宅	患者本人、家族、ヘルパー、福祉用具業者、保健所保健師	意思伝達装置（スイッチ）について
H31. 1. 30 ALS・自宅	患者本人、家族、ケアマネジャー、訪問（理学療法士）、視線入力機器・音声合成ソフト販売業者、保健所保健師	意思伝達装置の導入について
H31. 2. 1 ALS・医療機関	患者本人、家族、医療機関（医師、病棟看護師、リハビリ担当者、地域医療連携室看護師）、ケアマネジャー、訪問看護師、保健所保健師	退院後の生活について

イ 難病研修会の開催

日時・場所	内 容	参 加 者
H31. 1. 27 三重県伊賀庁 舎中会議室	講演：「パーキンソン病における在宅支援について」 講師：藤田医科大学七栗記念病院 医師 高橋雄 氏	伊賀管内の訪問看護師、ケアマネジャー、保健師 等 計66名

(2) 個別ケアの充実

ア 所内面接

個別ケアの充実を図るため、新規申請や更新・変更申請の際に ALS 等の神経難病患者を中心に面接を実施し病状の確認、医療や生活面での相談を実施しました。

イ 電話相談・面接相談

申請時手続きの来所者などを対象に面接を実施し、患者家族からの在宅療養上の相談に対応した。必要な人に対して電話相談、面接相談、訪問などを実施するとともに、関係機関につなげた。また特定医療費申請手続き等に関する相談に対応しました。

ウ 家庭訪問

継続ケース、申請時希望のあったケース、患者や家族・医療機関その他関係機関から依頼のあったケース等に家庭訪問を実施し、療養上の不安の軽減や日常生活等に係る相談に応じました。

家庭訪問実施状況

疾患名	訪問件数
筋萎縮性側索硬化症（ALS）	実5件/延19件

(3) その他

ALS の患者家族から、同じ疾患の患者や家族から話を聞きたいとの要望があり、患者会や難病相談支援センターの紹介を行いました。

4 臓器移植啓発事業

伊賀保健所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行いました。

5 骨髄バンク

白血病、再生不良性貧血等の血液疾患の患者は、治療のために骨髄又は末梢血幹細胞の移植を受けるためには待たざるを得ない状況にあることから、より多くの骨髄バンクドナーの確保が求められており、造血幹細胞移植に対する正しい知識の普及啓発とともに、窓口を開設することにより、ドナー登録の推進に取り組みました。

- 平成 30 年度ドナー登録窓口（臨時を含む。）の開設： 6 回（登録者 28 名）



131 障がい者の自立と共生

13101 障がい者の地域移行の推進と福祉サービスの充実

(主担当:保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

1 障がい者および家族が、安心して地域生活をおくるための居宅介護などの訪問系サービス、生活介護等の日中活動系サービスを適切に利用できるよう、相談支援体制の充実やサービス提供基盤の整備促進を行います。

1 障がい者福祉

障害福祉サービス事業者に対し、新規・変更等指定申請時に、必要な指導、助言を行いました。

(1) 身体障害(児)者手帳所持者の状況

平成 31 年 4 月 1 日現在

種別		視覚障害	聴覚障害	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計
伊賀市	児	4	6	1	34	4	49
	者	297	512	49	2,562	1,245	4,665
	小計	301	518	50	2,596	1,249	4,714
名張市	児	2	5	0	40	13	60
	者	174	355	41	1,825	925	3,320
	小計	176	360	41	1,865	938	3,380
管内計	児	6	11	1	74	17	109
	者	471	867	90	4,387	2,170	7,985
	計	477	878	91	4,461	2,187	8,094

*資料：三重県障がい福祉課

(2) 療育手帳所持者の状況

平成 31 年 4 月 1 日現在

	A (最重度・重度)			B (中度・軽度)			合計		
	児	者	小計	児	者	小計	児	者	合計
伊賀市	50	271	321	123	378	501	173	649	822
名張市	48	229	277	133	342	475	181	571	752
計	98	500	598	256	720	976	354	1,220	1,574

*資料：三重県障害者相談支援センター

(3) 管内の障害福祉サービス等指定事業所(居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護事業所を除く)

ア 障害福祉サービス事業所

平成 31 年 4 月 1 日現在

サービスの種類	所在地	事業所数	定員
生活介護	伊賀市	7	84
	名張市	7	164
放課後等デイ	伊賀市	9	90
	名張市	6	70
保育所等訪問	伊賀市	-	-
	名張市	1	-
児童発達支援	伊賀市	5	50
	名張市	3	36
短期入所	伊賀市	4	9
	名張市	6	40
就労移行支援	伊賀市	3	32
	名張市	1	6
就労継続支援 A 型	伊賀市	5	90
	名張市	1	10
就労継続支援 B 型	伊賀市	14	239
	名張市	10	211
自立(生活)訓練	伊賀市	1	6
	名張市	1	6
共同生活援助	伊賀市	6	107
	名張市	5	127
施設入所支援	伊賀市	1	20
	名張市	4	145
福祉型障害児入所施設	伊賀市	-	-
	名張市	1	20
一般相談支援	伊賀市	1	-
	名張市	2	-
特定相談支援	伊賀市	7	-
	名張市	4	-
障害児相談支援	伊賀市	3	-
	名張市	2	-

イ その他の福祉施設

平成 31 年 4 月 1 日 現在

施設の種類	施設等の名称	所在地
点字図書館	上野点字図書館	伊賀市
盲人ホーム	伊賀市盲人ホーム	伊賀市

*資料：三重県障がい福祉課

13105 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市および関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の療養、社会復帰等に対する相談、指導、援助を行います。
- 3 精神障がい者の地域生活をサポートするためのネットワークづくりを行います。
- 4 地域住民に精神障がいに対する正しい知識の普及啓発を行います。

1 精神保健福祉事業

(1) 精神保健医療対策

ア 精神保健措置事業

目的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷、他害の行為を防ぎます。

1) 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況

平成 30 年度

区 分	小 計	法 29 条該当		法 29 条 非該当	診察不要
		措置入院 者数	緊急措置入院者数 (内措置入院となったもの)		
計	16	2	6 (4)	3	5
法 22 条申請	0	0	0 (0)	0	0
法 23 条通報	16	2	6 (4)	3	5

* 法第 22 条申請(診察及び保護の申請) * 法第 23 条通報(警察官の通報)

2) 取扱措置入院患者数

平成 30 年度

	計	男	女
第 29 条措置新規	6	4	2
第 29 条措置解除	5	4	1
第 29 条措置在院者数	1	0	1

イ 自立支援医療(精神通院医療)

目的 精神障がい者の通院治療について適正な医療を普及するため、医療費の公費負担をします。

自立支援医療費(精神通院)受給者証の有効期間：1年間

1) 市別受給者証所持者数 平成31年3月31日現在

市町名	発行件数
伊賀市	1,496
名張市	1,379
計	2,875

(2) 精神障害者地域生活支援事業

ア 精神障害者保健福祉手帳交付

目的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ります。

精神障害者保健福祉手帳の有効期間：2年間

1) 市別等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数 平成31年3月31日現在

		伊賀市	名張市	計
障害 等級	1	73	73	146
	2	470	537	1,007
	3	140	200	340
計		683	810	1,493

イ 精神保健相談及び保健師の相談

目的 一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療につなげるとともに、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促します。

1) 相談件数

相談の区分	精神保健相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	毎月最終月曜日 14:00~17:00	随時	随時	随時
相談延件数	20	27	75	355

ウ 知識の普及と啓発

目的 地域住民に対して、精神障がいの正しい知識を普及啓発するとともに、精神障がい者の地域における身近な支援者を育成します。

1) 地域交流会

対象:管内精神障害者通所施設・家族会・ボランティア等

開催日:平成30年11月21日 13:00~15:00

場所:しらさぎ運動公園多目的グラウンド

内容:グラウンドゴルフ大会 参加者:41名

エ 精神障がい者支援体制の整備

1) 伊賀地域精神保健福祉連絡協議会

目的 精神障がいの地域における生活の支援及び社会参加の促進を図るため、関係機関の連携を強化し、地域ケアの充実について検討します。

開催日	内 容	場 所	参加者
平成 30 年 6 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義「措置対応と関係機関の連携について ～事例をもとに考える～」 講師：医療保健部 健康づくり課 精神保健福祉班 班長 牧戸 貞 ・ 措置通報対応事例紹介・意見交換 	伊賀庁舎 中会議室	関係機関 職員 13 名

2) 伊賀圏域障がい福祉連絡協議会

伊賀圏域の障害保健福祉に関する課題を集約し、施策への反映等課題解決に向けた協議会へ参加しました。

会議名	開催数	参加者
連絡協議会	3 回	両市、指定一般相談支援事業所、特定相談事業所、 病院、家族会、地域生活支援事業所、B 型作業所、 学識経験者、社会福祉協議会、保健所等
くらし部会	4 回	
社会調査・ケース会議WG	7 回	



132 支え合いの福祉社会づくり

13201 地域福祉活動の推進

(主担当：保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 民生委員・児童委員活動の向上を図ることを目的として、民生委員児童委員協議会に対して支援を行います。

1 民生委員・児童委員

- (1) 民生委員・児童委員の定数

平成 31 年 3 月 31 日現在

市名 \ 定数	民生委員・児童委員	主任児童委員	計
伊賀市	277	32	309
名張市	170	16	186
計	447	48	495

・平成 28 年 12 月 1 日に一斉改選が行われ、任期は 3 年です。

13203 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

(主担当：保健衛生室 総務企画課)

主な取組内容

- 1 平成 24 年 10 月から開始された「三重おもいやり駐車場利用証制度」に基づき、障がい者等からの申請により利用証を交付します。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」とは、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などさまざまな施設に「おもいやり駐車場」を設置するとともに、必要な方に「おもいやり駐車場」の利用証を交付する制度です。

1 おもいやり駐車場利用証制度

- (1) 利用証交付数

平成 31 年 3 月 31 日現在

	交付数	区分別交付数							
		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	要介護高齢者等	難病患者	妊産婦	けが人	その他
伊賀市	2,785	1,414	46	7	318	63	765	17	155
名張市	1,925	1,203	45	6	180	30	375	9	77
計	4,710	2,617	91	13	498	93	1,140	26	232

144 薬物乱用防止等と動物愛護の推進等

14401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当：保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 薬物乱用の未然防止をはかるため、街頭での啓発活動、乱用防止教室等を実施するほか、覚醒剤等相談窓口を設置することで、地域住民からの相談に応じます。
- 2 不正大麻・けし栽培の取締りを実施します。

1 薬物乱用防止の普及啓発

覚醒剤、麻薬、大麻、シンナーなどの薬物乱用は、本人の心身に害を及ぼすことはもちろんのこと、凶悪犯罪を誘発するなど社会的、経済的にも計り知れない害悪を及ぼすため、薬物の危害等に関する情報を提供するとともに、その乱用を防止する重要性を啓発しました。

(1) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

ア 目的

深刻な社会問題となりつつある薬物乱用問題への認識を高めるとともに、国連総会決議に基づく「6. 26 国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図るキャンペーンを官民一体で展開し、薬物乱用防止に資するために取り組みます。

イ 実施期間

平成 30 年 6 月 20 日～7 月 19 日

ウ 実施結果

月日	場所	対象人員	内容
6 月 25 日	伊賀鉄道上野市駅前	150	リーフレット、救急絆創膏、ポケットティッシュ等の啓発資材の配布
7 月 5 日	近畿日本鉄道名張駅前	300	リーフレット、救急絆創膏、ポケットティッシュ等の啓発資材の配布

(2) 麻薬・覚せい剤乱用防止運動

ア 目的

麻薬、覚醒剤、大麻、シンナー、危険ドラッグ等の薬物乱用は、乱用者当人の健康の問題にとどまらず、犯罪を誘因するものとして無視できず、そのために麻薬、覚醒剤等の乱用防止の必要性を呼びかけ、薬物乱用を根絶する意識向上を図ります。

イ 実施期間

平成 30 年 10 月 1 日～11 月 30 日

ウ 実施結果

月日	場所	対象人員	内容
10 月 7 日	総合福祉センターふれあい、名張市内	250	啓発資材の配布と呼びかけ
10 月 8 日	大山田阿波グラウンド	100	啓発資材の配布と呼びかけ

月日	場所	対象人員	内容
10月8日	ふるさと会館いが	350	啓発資材の配布と呼びかけ
10月9日	伊賀鉄道上野市駅前、茅町駅前、桑町駅前等	400	啓発資材の配布と呼びかけ
10月9日	近畿日本鉄道名張駅前	1,000	啓発資材の配布と呼びかけ
10月14日	上野運動公園	100	啓発資材の配布と呼びかけ
11月1日	Aコープ 青山店前	100	啓発資材の配布と呼びかけ
11月4日	小田公民館	100	啓発資材の配布と呼びかけ
11月10日	崇広中学校	100	啓発資材の配布と呼びかけ
11月11日	名張市役所	500	啓発資材の配布と呼びかけ
11月24日	総合福祉センターふれあい、名張市内	150	啓発資材の配布と呼びかけ

(3) 薬物相談窓口の開設

ア 目的

薬物乱用者本人及びその家族等を対象にして、覚せい剤、大麻等の規制薬物の使用による検挙、依存、入院加療等の相談に応じ、必要な助言をしたり、適切な機関を紹介したりすることにより、本人の社会復帰への意欲を醸成するための支援を行います。

イ 実施期間

通年

ウ 実施結果

該当する相談はありませんでした。

2 不正大麻・けしの除去

○ 県民参加による不正大麻・けしクリーンアップ運動の実施

ア 目的

不正大麻・けしの栽培の禁止、それらの発見時の対応等を啓発することにより、県民、薬物乱用防止指導員、警察、保健所等が連携し、地域での早期の発見及び除去に努めることで、不正大麻・けしを地域から撲滅することを実現します。

イ 実施期間

平成30年4月1日～6月30日

ウ 実施結果

除去本数： けし 426本（管内3箇所、セティゲルム種）

14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当：保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 犬による危害発生の防止及び狂犬病の予防を図るほか、収容又は引取りをした犬及び猫の新たな飼い主への譲渡（又は飼い主への返還）を推進します。また、飼い主への適正飼養の啓発に加え、小学生等を対象に出前教室を実施します。
- 2 動物取扱業者及び特定動物飼養者への立入検査を実施し、必要な指導を行います。

1 狂犬病の予防・動物の愛護管理

(1) 咬傷事故の対応

犬による咬傷事故の発生時には、飼い主に対して、当該事故を直ちに届け出ること、及びその犬を 48 時間以内に獣医師の検診を受けさせることを指導し、新たな事故の発生の防止に取り組みました。

- 平成 30 年度犬による咬傷事故数： 11 件

(2) 犬・猫の返還・譲渡の推進

けい留されていない犬を抑留し、負傷等による収容又は飼い主が不明での引取りをした犬及び猫について、飼い主を発見して返還する、又は新たな飼い主へ譲渡できるように取り組みました。

- 平成 30 年度犬・猫の返還・譲渡数

犬（頭数）			猫（頭数）		
収容・引取り	返還	譲渡	収容・引取り	返還	譲渡
51	29	16	84	0	55

(3) 動物愛護教室の実施

小学生等を対象にして、出前教室（「犬との接し方教室」又は「動物愛護教室」）を実施することにより、動物愛護精神の醸成、適正飼養を推進等に取り組みました。

- 平成 30 年度出前教室の実施数： 2 回

2 動物取扱業者・特定動物飼養者の監視指導

- 動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物取扱業者及び特定動物飼養者の飼養等の施設に立入検査を行い、各々の基準に照らして遵守状況を確認しました。

- 平成 30 年度動物取扱業者及び特定動物飼養者の登録（許可）・監視数

第一種動物取扱業者					監視数	特定動物飼養者	監視数
販売	保管	貸出し	訓練	展示			
59	37	2	9	4	26	1	1

14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当：保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下「医薬品医療機器等法」という。）、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、医薬品販売等施設に対する監視指導を実施します。
- 2 愛の血液助け合い運動をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。

1 薬事

医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法、麻薬及び向精神薬取締法等に基づき、これらの薬品の製造から消費に至るまでを保健衛生上の見地から監視指導を実施しました。

(1) 医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性を確保するために、医薬品医療機器等法に基づき、その製造業者、薬局開設者及び販売業者の監視指導を実施しました。

● 平成30年度医薬品関係の施設数及び監視数

業種		施設数	監視数
医薬品	薬局	72	28
	薬局製造販売医薬品製造販売業	5	0
	薬局製造販売医薬品製造業	5	0
	店舗販売業	38	13
	卸売販売業	13	6
	特例販売業	1	1
医療機器	高度管理医療機器等販売・貸与業	68	18
	管理医療機器販売・貸与業	530	58
合計		732	124

(2) 毒物劇物による危害防止

日常流通する有用な化学物質のうち、主として急性毒性による健康被害が発生するおそれの高い物質が保健衛生上の見地から必要な規制が行われており、毒物及び劇物取締法に基づき、毒物劇物営業者、特定毒物研究者等の監視指導を実施しました。

また、上記のほか、警察署、消防署等と連携し、毒物劇物運搬車両による事故の未然防止を図るために、合同での指導取締りを実施しました。

● 平成 30 年度毒物劇物関係の施設数及び監視数

業種		施設数	監視数
毒物劇物製造業（大臣登録・知事登録）		12	6
毒物劇物輸入業（大臣登録・知事登録）		2	1
毒物劇物販売業	一般	58	19
	農業用品目	20	3
	特定品目	2	0
特定毒物研究者		3	1
合計		97	30

(3) 麻薬等の取扱・管理の適正化

麻薬、向精神薬等の濫用を防止し、医療麻薬等の適正な取扱いにより、保健衛生上の危害を未然に防止するために、麻薬及び向精神薬取締法に基づき、卸売業者、販売業者及び診療施設の監視指導を実施しました。

● 平成 30 年度麻薬関係の施設数及び監視数

業種		施設数	監視数
麻薬卸売業者		1	1
麻薬小売業者		61	26
麻薬診療施設	病院	6	7
	診療所	46	2
	家畜診療所	11	4
合計		125	40



2 献血推進

県内医療機関が使用する血液製剤の確保に必要な献血目標者数を達成するために、市と協力して献血ページェント等のキャンペーンを展開し、県民各層に献血に関する理解と協力を求めたほか、県が委嘱した高校生が中心となるヤングミドナサポーター、献血ボランティア団体等が参画することで、将来の献血事業を担う若年層への献血に関する普及啓発も実施しました。

(1) 献血ページェントの実施

年間で献血者が減少する傾向のある時期にキャンペーンを展開し、献血への理解と協力を求めるとともに、献血思想を普及させるための街頭啓発を実施しました。

● 平成 30 年度献血ページェントの実施結果

実施日	実施場所	内容	献血者数
7月22日(日)	アピタ伊賀上野店	愛の血液助け合い運動	69
8月8日(水)	イオン名張店	愛の血液助け合い運動	42
11月4日(日)	アピタ伊賀上野店	伊賀市街頭献血	61
11月10日(土)	名張市役所	名張市献血推進の日	53
2月13日(水)	イオン名張店	ウインター献血	52
2月24日(日)	アピタ伊賀上野	ウインター献血	66

(2) 市別献血状況

こちらの集計データは、三重県赤十字血液センターの献血バスが伊賀市及び名張市に配車され、そのときに協力をいただいた献血の開催場所別のものになります。

管内の献血者数としては、平成 30 年度の 2,215 名から 72 名増加し、概ね例年並みの献血者を確保することができました。

● 平成 30 年度市別の献血結果

市町別	献血者数			
	400mL	200mL	成分献血	合計
伊賀市	1,748	0	0	2,287
名張市	539	0	0	
三重県	33,315	487	22,556	56,358

(3) 若年層への献血思想の普及

将来の献血を担う若年層への献血思想の普及を図るために、高校生等を献血ボランティアであるヤングミドナサポーターに委嘱し、献血ページェント等を協力して実施しました。

● 平成 30 年度ヤングミドナサポーター委嘱者数： 98 名（7 校）

14404 生活衛生営業の衛生確保

(主担当：保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 生活衛生関係事業者に対する監視指導を行うことにより、衛生上必要な措置の遵守状況を確認し、業界全体の衛生水準の向上を図ります。
- 2 生活衛生関係者に対する講習会を実施することにより、自主的な衛生管理を推進します。

1 生活衛生関係施設の監視指導

生活衛生関係施設（理容所、美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場及び興行場）として、日常生活に密着したこれらの施設に対して、衛生水準の維持向上を図るために監視指導を実施しました。

●平成 30 年度生活衛生関係施設の監視結果

業種	施設数			監視数	
	伊賀市	名張市	合計		
理容所	94	67	161	18	
美容所	172	176	348	39	
クリーニング所	工場	10	11	21	3
	取次所	35	26	61	11
旅館	51	30	81	26	
公衆浴場	28	9	37	17	
興行場	5	1	6	1	
合計	395	320	715	115	

2 生活衛生関係者の資質向上

生活衛生関係者を対象にして、衛生講習を実施することにより、衛生上必要な措置の普及を図るとともに、自主的な衛生管理の推進を啓発しました。

●平成 30 年度の衛生講習の実施結果

実施日	会場	対象	受講者数
11月5日	名張産業振興センター ASPIA	理容師及び美容師	72
11月12日	伊賀庁舎大会議室	理容師及び美容師	94

145 食の安全・安心の確保

14501 食の安全・安心の確保

(主担当：保健衛生室 衛生指導課)

主な取組内容

- 1 食品の製造・加工から消費に至るまでの過程を監視指導するとともに、食品、添加物等の検査を実施することにより、食の安全・安心を確保することを目指します。
- 2 食品等事業者、消費者等を対象にして、食品衛生の向上に資する講習会を開催するほか、食品衛生の正しい知識の普及を図るための啓発活動等を実施します。

1 食品衛生

食品営業施設、給食施設等に対する監視指導を実施し、施設、管理運営等の基準の遵守状況に加え、食品表示の適格性の確認を行った。同時に、食品、添加物等を収去することにより、細菌、アレルギー物質、残留農薬等を検査し、その結果を踏まえた衛生管理等を指導しました。

(1) 食品営業施設等の監視指導

食品営業施設、給食施設等は、三重県食品監視指導計画に基づき、食中毒発生時のリスク、取り扱う食品の流通の広域性、製造量等でランク分けし、各々のランクに応じた頻度により、監視指導を実施しました。

● 平成 30 年度食品営業施設等の監視指導結果

区分			監視数	監視率 (%)
A ランク施設 (年 2 回以上)	対象施設数	104	314	151.0
	目標監視数	208		
B ランク施設 (年 1 回以上)	対象施設数	147	168	114.3
	目標監視数	147		
C ランク施設 (5 年に 1 回)	対象施設数	3,495	1125	160.9
	目標監視数	699		
合計	対象施設数	3,746	1,607	152.5
	目標監視数	1,054		

(2) 食品収去による試験検査の実施

食品営業施設、給食施設等において、収去した食品の試験検査を行い、その結果を踏まえ、同施設での食品取扱設備、食品、食品取扱者等の衛生管理に関する指導を行いました。

● 平成 30 年度食品収去の試験検査結果

区分	検体数	不適数		不適率 (%)
		衛生管理指標	規格基準	
試験検査	171	4	0	2.3

(3) 食品表示の監視指導

食品営業施設への監視、食品の試験検査等の際に、アレルギー、消費（賞味）期限、添加物等の食品表示の監視指導を行いました。

● 平成 30 年度食品表示監視指導の実施結果

区分		監視数	不適数
食品表示	店舗	134	18
	収去食品	26	0

2 食品衛生の普及

食品等事業者、消費者等に対して、食品衛生講習を行うとともに、食品衛生指導員と連携し、街頭での食品衛生思想の普及啓発の活動を行った。また、食品取扱者の資質の向上を図るために、食品衛生指導員及び食品衛生責任者の養成に携わったほか、調理師及び製菓衛生師の試験の実施に協力しました。

(1) 食品衛生月間における街頭啓発の実施

食品衛生月間（8月）において、全国的に食品衛生思想の普及・啓発が図られることから、食品衛生指導員と連携し、量販店の店頭で街頭啓発、手洗い実験等を実施しました。

● 平成 30 年度食品衛生月間の実施結果

実施日	実施場所	内容	対象者数
8月1日	イオン伊賀上野店	食中毒予防リーフレット等の配布、手洗い実験	200
8月2日	Aコープ青山店	食中毒予防リーフレット等の配布	100
8月3日	イオン名張店	食中毒予防リーフレット等の配布、手洗い実験	200

(2) 食品衛生に関する講習会実施結果

食品事業者（食品衛生指導員及び食品衛生責任者を含む。）、消費者等を対象にした講習会を実施することにより、正しい食品衛生の知識の普及に努めました。

● 平成 30 年度食品衛生に関する講習会の開催： 36 回（受講者 1,069 名）

(3) 調理師・製菓衛生師試験受験状況

平成 30 年 11 月 11 日、メッセウイング・みえ（津市北河路町）において、平成 30 年度の試験が実施され、同年 12 月 12 日に合格発表が行われました。

● 平成 30 年度試験の実施結果

区分	申込者数	受験者数	合格者数	合格率（％）
調理師試験	40	35	26	74.3
製菓衛生師試験	66	61	41	67.2



146 感染症の予防と拡大防止対策の推進

14601 感染症予防のための普及啓発の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症の予防事業

感染症の予防対策と防疫対策の推進を図り、患者発生防止に努めました。

(1) 感染症発生状況(結核を除く)

平成 30 年度

分類	疾患名	届出件数
一類感染症	—	0
二類感染症	—	0
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4
四類感染症	レジオネラ症	3
五類感染症	アメーバ赤痢 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 後天性免疫不全症候群 侵襲性肺炎球菌感染症 水痘(入院例) 梅毒 播種性クリプトコックス症 風しん 麻しん	1 4 2 2 1 11 1 7 4

(2) 検疫通報 通報件数 0 件

(3) 行政検査実施状況

平成 30 年度

疾患名	件数
腸管出血性大腸菌感染症	5

(4) 感染症病原体検査 検査件数 27 件

(5) 感染予防教育実施状況

実施日	場所	内容	参加者
平成 30 年 6 月 15・18 日	伊賀市消防本部	感染症に関する勉強会	伊賀市消防職員 70 名
平成 30 年 6 月 22・25 日	名張市消防本部	感染症に関する勉強会	名張市消防職員 58 名
平成 30 年 6 月 25 日	阿山保健福祉センター	感染症対策について	伊賀市内保育所(園)長 30 名
平成 30 年 11 月 13 日	ゆめぼりすセンター	食品衛生について 感染症対策について	給食関係従事者 52 名
平成 31 年 3 月 19 日	山出区集議所	みえ出前トーク「感染症の発生状況と予防」	老人クラブ 16 名

14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 新型インフルエンザ等の社会的に影響の大きい感染症の発生に備え、関係機関との訓練を行い、防疫体制の強化を図ります。

1 実動訓練

新型インフルエンザ等発生すると社会的影響の大きい感染症に備え、関係機関と保健所の連携体制を確認し、患者発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう訓練を実施しました。

実施日	場所	内容	参加者
平成 30 年 9 月 19 日	伊賀市消防本部	(1) 個人防護具の着脱訓練 (2) エボラ出血熱患者移送訓練 (3) 意見交換	伊賀市消防本部 職員 名張市消防本部 職員 伊賀保健所 職員
平成 30 年 11 月 27 日	伊賀市立上野総合 市民病院	(1) 個人防護具の着脱訓練 (2) 新型インフルエンザ患者受 入れ訓練 (3) 意見交換	伊賀市立上野総合市民 病院 職員 伊賀保健所 職員

14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 エイズをはじめとする性感染症のまん延を防止するため、知識の普及啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健康診断を実施し、まん延を防止します。

1 エイズ対策事業

エイズに対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、相談及び検査を実施しました。

(1) 相談、検査状況

平成 30 年度

	男	女	計
エイズ相談件数	5	0	5
エイズ検査件数	57	17	74

(2) 普及啓発状況

エイズを含めた性感染症の予防と、患者及び感染者に対する差別や偏見の解消を図る事を目的に普及啓発を実施しました。

実施日	内 容	対象者
平成 30 年 6 月 1 日～ 6 月 7 日	伊賀庁舎にてHIV検査普及週間啓発コーナーの設置	一般住民等
平成 30 年 10 月 3 日	コープみえ商品・くらしの活動交流会にてエイズ啓発を実施	来場者 77 名
平成 30 年 11 月 11 日	名張市健康・医療介護福祉フェスタにてエイズ啓発コーナーの設置	来場者 60 名
平成 30 年 11 月 28 日 ～12 月 7 日	伊賀庁舎にて世界エイズデー啓発コーナーの設置	一般住民等
平成 30 年 11 月 30 日	世界エイズデー街頭キャンペーンの実施	住民 500 名

(3) 特定感染症検査

平成 30 年度

	男	女	計
梅毒検査件数	57	17	74
B型肝炎検査件数	64	25	89
C型肝炎検査件数	64	25	89

レッドリボンは、
H I V感染者・エ
イズ患者への理解
と支援の意思を表
すシンボルです。



(4) 肝炎ウイルス検査医療機関委託事業

委託件数 63 件

2 結核対策事業

平成 19 年 4 月からは感染症法 2 類として結核が位置づけられた。対策としては引き続き、結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図ります。

(1) 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めました。

ア 登録及び登録除外の状況(潜在性結核感染症含む)

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

	H29 年末現在 登録数	年内登録			年内登録除外			H30 年末現在 登録数
		新規	転入	計	除外	転出	計	
管内 計	51	33	5	38	26	2	28	61
伊賀市	33	18	1	19	16	2	18	34
名張市	18	15	4	19	10	0	10	27

イ 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

病型別 年齢区 分	活動性結核															(別掲) 潜在性 結核感染症		
	計			肺結核活動性									肺外結核					
				喀痰塗抹 陽性			その他 結核菌陽性			菌陰性・ その他			活動性					
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女			
計	27	16	11	10	7	3	11	8	3	2	1	1	4	0	4	6	3	3
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0
40～49	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	1
50～59	3	2	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
60～69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
70～	20	12	8	9	6	3	9	6	3	0	0	0	2	0	2	2	1	1

ウ 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成 30 年 12 月 31 日現在

区分	病型別	計	活動性結核				肺外結核 活動性	不活動 性結核	活動性 不明
			肺結核活動性(登録時)						
			計	喀痰塗 抹陽性	その他 結核菌 陽性	菌陰性、 その他			
計		47	10	4	6	0	2	34	1
入院		4	3	1	2	0	1	0	0
うち、37条適用		3	3	1	2	0	0	0	0
在宅医療		9	7	3	4	0	1	0	1
医療なし		34	0	0	0	0	0	34	0
医療状況不明		0	0	0	0	0	0	0	0

エ 市別結核登録患者の状況

平成 30 年 12 月 31 日現在

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結 核活動 性	不活動 性結核	活動性 不 明	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性(登録時)							
			喀痰塗 抹陽性	その他 結核菌 陽性	菌陰性・ その他					
管内 計		47	4	6	0	2	34	1	14	
伊賀市		28	4	1	0	0	22	1	6	
名張市		19	0	5	0	2	12	0	8	

オ 市別結核新登録患者の状況

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

市町別	病型別	計	活動性結核				肺外結 核活動 性	罹患率 (10万対)	(別掲) 潜在性 結核 感染症
			肺結核活動性(登録時)						
			計	喀痰塗 抹陽性	その他 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
管内 計		27	23	10	11	2	4	16.3	6
伊賀市		14	13	6	5	2	1	15.9	4
名張市		13	10	4	6	0	3	16.9	2

(2) 結核検診実施状況

平成 30 年度

対象別	項目	予防接種			胸部エックス線撮影		喀痰 検査 者数	ツベル クリン 検査	QFT 検査	結核患 者発見 者数
		対象者 数	BCG 接 種者数	接種率 %	対象者 数	受診者 数				
定期	計	1,104	1,100	99.6	65,036	20,215	-			-
	事業者				7,821	7,659	-			-
	学校長				1,536	1,531	-			-
	施設の長				1,519	1,469	-			-
	市町長	1,104	1,100	99.6	54,160	9,556	-			-
定期外	計		-			23	-	-	72	5
	患者家族等		-			15	-	-	72	5
	患者管理		-			8	-	-	-	0

(3) 市町別一般住民結核健康診断実施状況

平成 30 年度

市町別	項目	住民健 診対象 者数 (A)	BCG対 象者数 (B)	BCG接 種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影			結核 患者 発見 数 (G)	(G) / (D) %	
						受診人員					(D) / (A) %
						間接撮 影数	直接撮 影数	計(D)			
計	54,160	1,104	1,100	99.6	0	9,556	9,556	17.6	-	-	
伊賀市	29,645	580	576	99.3	0	4,167	4,167	14.1	-	-	
名張市	24,515	524	524	100.0	0	5,389	5,389	22.0	-	-	

(4) 感染症診査協議会委員名簿(順不同)

平成 30 年 4 月 1 日現在

氏 名	役 職 名
坂井 隆	学識経験者
猪木 達	社会医療法人 畿内会 岡波総合病院 院長
町支 素子	医療法人まちし会 まちしクリニック 院長
玉置 三富士	社会保険労務士
國富 静代	人権擁護委員

(5) 結核健康相談開催

接触者健診及び管理検診

毎月第 2、4 週の木曜日 午後 12 時 30 分から午後 1 時 受付

(6) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

ア 感染症法第 37 条申請診査件数

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区分	申請別 計	新規申請 (法 20 条第 1 項)	継続申請 (法 20 条第 4 項)	解除
申請件数	41	13	28	11
承認件数	41	13	28	11

イ 感染症法第 37 条の 2 申請診査件数

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

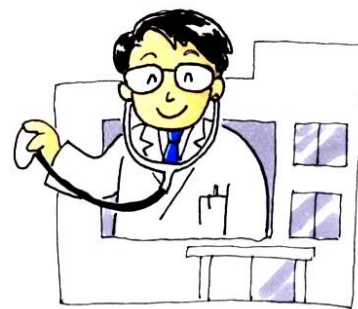
区分	保険別 計	被用者保険		国保	後高	生保	その他
		本人	家族				
申請件数	44	20	0	5	19	0	0
承認件数	44	20	0	5	19	0	0

(7) 結核統計

罹患数・率、有病数・率

平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日

市別		計	伊賀市	名張市
* 人口 (H30.10 現在)		165,151	88,111	77,040
罹患率	総数	27	14	13
	率(10 万対)	16.3	15.9	16.9
有病率	総数	47	28	19
	率(10 万対)	28.5	31.8	24.7



* 資料:三重県戦略企画部統計課推計人口

(8) 結核対策特別促進事業

ア 目的

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により、医師及び保健師の抗結核薬服薬支援が義務づけられている。独居生活者、高齢者世帯、外国人といった家族や周囲の支援や協力を得られにくく、服薬中断リスクの高い者を中心に定期的な訪問、面接、連絡などによって接触を図り、処方された薬を確実に服薬できるように支援を行っています。

しかし、再発及び薬剤感受性菌の出現を防止するためにはすべての結核患者や潜在性結核患者の治療完了を徹底する必要がある。結核患者や潜在性結核患者を対象に服薬確認を行い、服薬中断リスクの高いものには訪問や面談によって密に連絡をするように努めます。

また、病院、薬局や関係機関と連携を図り、地域での服薬支援体制の充実を図ります。

イ 事業内容

- 1) 訪問・電話連絡等で定期的に患者及び家族に服薬・受療状況の確認・支援を行いました。

平成 30 年度

	DOTS 対象者 数	DOTS 実施数	内訳				
			院内 DOTS	訪問 DOTS	郵送 DOTS	来所 DOTS	連絡 DOTS
実件数	38	38	4	17	13	4	0
延べ数		124		67	48	9	0

- 2) 医療機関での DOTS カンファレンスに参加し、服薬支援状況・結果等を報告しました。

「訪問結果報告書」「面接報告書」を使用して、医療機関との情報共有を行いました。

DOTSカンファレンス

平成 30 年度

開催場所	参加回数	対象者数
三重中央医療センター	6 回	6 名

* DOTS カンファレンス: 医療機関の医師、看護師、薬剤師や保健所の保健師等が通院後の確実な服薬支援方法について検討、協議する会議

ウ 効果(今後の展望、次年度計画への反映等)

- ・定期的な服薬確認により、抗結核薬の飲み忘れや飲み間違いを防ぐことができ、治療自己中断者無く、治療継続・治療完遂できました。また、定期的な関わりによって患者の体調や副作用の有無を把握することができ、適切な医療機関受診に繋げることができました。
- ・関係機関に服薬支援を依頼する際に結核に関する知識を説明することで、結核についての理解促進や、知識の向上に繋げることができました。



II「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

232 結婚・妊娠・出産の支援

23203 母子保健対策の推進

(主担当:保健衛生室 地域保健課)

主な取組内容

三重県の「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」が平成27年度から施行されたことに伴い、各市が、妊娠・出産・育児における「地域の強みを生かした切れ目のない母子保健体制」を整備できるよう人材育成、関係機関調整等、体制整備の支援を行います。

1 母子保健事業

母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、市の母子保健事業の支援、広域的な母子保健施策の推進に努めます。

(1) 健やか親子支援事業

親と子が健やかに暮らせる地域社会づくりを目指し、「健やか親子いきいきプランみえ(第2次)」を推進していく中で、妊娠・出産・乳幼児期・思春期を通じて総合的に支援していくことを目的とします。

ア 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

小児慢性特定疾病児の新規・更新申請時に、医師からの訪問の指示があるケースを中心に家庭訪問を実施し、小児慢性特定疾病及び長期療養児等とその家族に対して、関係機関との連携を図りながらQOL(生活の質)の向上を目指して個別支援を実施しました。

家庭訪問延件数	6 件
相談延件数(面接・電話)	45 件
連絡調整会議	2 件

イ 児童虐待予防ケア

母親がメンタル疾患である虐待のハイリスク児に対して、関係機関と連携を図り個別支援を実施しました。

家庭訪問延件数	2 件
相談延件数(面接・電話)	0 件
管内保健師勉強会	1 件

児童虐待のハイリスク者に対応する関係機関の連携強化を目的に、市主催の連絡調整会議に参加しました。

会議名		場 所	参加者
名張市要保護児童対策及びDV対策地域協議会	代表者会議 (1回)	名張市役所 等	市担当者 市教育委員会 警察署 児童相談所 女性相談所 保健所 等
	事務担当者会議(5回)		
	研修会 (1回)		

ウ 思春期保健

心身ともに発達や変化の大きい思春期の児童・生徒等に対して、性や健康に関する情報の提供及び保健指導を実施しました。

電話相談延件数	20 件
---------	------

エ 母子保健体制の整備

母子保健関係機関との連絡調整会議への参加しました。

	年月日	場 所	内 容	参加者
連絡調整会議	H30.6.18	伊賀庁舎 衛生教育室	管内母子保健担当者 意見交換会	市保健師 市母子保健担当事務職員 県庁子育て支援課職員 保健所保健師
乳幼児健診委員会 の場での情報交換	H30.7.19 H30.11.22	伊賀医師会館	乳幼児健診委員会 (乳幼児健診の結果 確認及び情報交換)	小児科医師 産婦人科医師 市保健師 保健所保健師等
	H30.4.6 H30.8.3 H30.10.5 H30.12.7 H31.2.8	名賀医師会館		

(2) 小児慢性特定疾病の状況

小児慢性特定疾病医療費助成に基づき、患者家庭の医療費負担の軽減を図りました。

平成 31 年 3 月 31 日現在

	計	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体・遺伝子疾患
件数	149	13	10	7	35	41	3	7	1	3	16	10	3

2 母体保護事業

(1) 人工妊娠中絶届出数（年齢別・在胎週別）

平成 30 年度

年齢 在胎週	総数	20 歳 未満	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50 歳 以上	不詳
総数	148	14	29	25	29	31	18	2	0	0
満 7 週 以前	89	6	17	16	16	19	13	2	0	0
8 週～ 11 週	54	7	11	8	12	11	5	0	0	0
12 週～ 15 週	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
16 週～ 19 週	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 週～ 21 週	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 不妊手術届出数

届出件数 1 件



～ 沿 革 ～

年	月	日	概 要
S12	4	5	保健所法(法律 42 号)公布
S12	12	14	内務大臣より阿山、名賀両郡を管轄区域とする三重県伊賀上野保健所設置の件、認可される。
S13	8	25	阿山郡上野町大字上野字丸の内に庁舎建物(木造 2 階建 延 115 坪)竣工。敷地 321 坪(寄附 150 坪、無償貸与 171 坪) 同日付開所する旨告示(三重県告示第 668 号)。
S22	5		上野警察署から衛生関係業務(食品衛生、急性伝染病予防業務)移管(三重県告示第 222 号)。
S22	6		三重県上野保健所と改称(三重県告示第 248 号)
S22	9	5	保健所法全面改正(法律第 101 号、昭 23.1.1 施行)
S23	11	20	保健所の課制施行。総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置(庁訓第 550 号)。
S29	2	12	庁舎事務所(木造 2 階建 延 51 坪)竣工。
S35	8	15	次長制度施行(県規則第 65 号)。
S39	3	6	三重県上野庁舎に移転。
S39	5	6	名張市に上野保健所名張相談所開設。
S51	4	1	環境課設置。4 課 1 室となり衛生課を衛生指導課と改称。
H4	4	6	上野市四十九町に移転。
H5	4	1	保健婦室を保健指導課と改称。
H9	4	1	保健予防課・保健指導課を廃止し、企画調整課・地域保健課を設置。
H10	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・保健所、福祉事務所、児童相談所を統合し、伊賀県民局保健福祉部を設置。 これに伴いグループ制の実施。企画総務グループ、健康増進グループ、福祉保健グループ、児童グループ、衛生・検査グループを置く。
H13	4	1	・企画総務グループを、総務グループ、企画グループに分割。 ・衛生・検査グループを衛生指導グループに改称。
H14	4	1	・行政システム改革に伴う組織改正。 ・チーム制の導入、保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームの設置。 これに伴い保健衛生チームに計画調整グループ、健康増進グループ、衛生指導グループ、福祉相談チームに経営支援グループ、生活支援グループを置く。
H15	4	1	経営支援グループと計画調整グループを統合し、福祉相談チームに経営企画グループを置く。
H16	4	1	室制を導入。保健衛生チーム、福祉相談チーム、児童家庭チームをそれぞれ、保健衛生室、福祉相談室、児童家庭室に改称。
H17	4	1	・児童相談所の分離・独立に伴い、児童家庭室を廃止。 ・福祉相談室を企画福祉室、経営企画グループを企画市町村支援グループ、生活支援グループを福祉グループに改称。
H18	4	1	・機構改革による県民局制廃止に伴い、伊賀保健福祉事務所を設置。 (上野保健所を伊賀保健所に改称。 市町村合併に伴い、伊賀福祉事務所を廃止。) これに伴い企画福祉室を廃止し、課制導入。保健衛生室、企画福祉課、健康増進課、地域保健課、衛生指導課の 1 室 4 課体制となる。
H25	4	1	・機構改革により伊賀保健福祉事務所を廃止し、伊賀保健所を設置。 ・企画福祉課を総務企画課に改称。



(イラスト by 井端由加)

保健所年報

令和元年9月発行

三重県伊賀保健所

〒518-8533 伊賀市四十九町 2802 番地

電話番号 0595-24-8070(代表)

ファックス番号 0595-24-8085

R100

古紙配合率